

Rotary



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

Ryugasaki-chuo

2024.01.19 No.01195 R I District 2820 CLUB 50504

会長：長友芳郎 幹事：川上 勉
事務所：〒301-0824 茨城県龍ヶ崎市下町 2842

連絡先：TEL 0297-64-3956 FAX 0297-64-3978 http://rcrc.web5.jp
例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 ザ・ゴルフクラブ龍ヶ崎

本日のプログラム

【通常例会 01.19】
特別月間
(職業奉仕月間)
クラブ管理運営委員会



世界に希望を生み出そう

次回のプログラム

【通常例会 01.26】
クラブ協議会
(中間報告)
クラブ管理運営委員会

第 1194 例会報告 (2023.12.22)

Table with 2 columns: 点鐘, 内容. Includes items like 国歌斉唱・Rソング, 本日のプログラム, ゲスト・ピジター.

幹事報告

川上 勉幹事

2023.02.10.土曜日 Intercity Meeting が開催されます。時間：09時30分より
場所：アルシェ(龍ヶ崎)記念講演：荒井哲郎氏筑波大学精神医学教授 研修：「見て覧」の掲載紹介 10分程

会長報告

長友芳郎会長



いよいよ今年も押し迫って参りました。今年度はコロナからどうか解放されてきましたね。少しずつ状況が改善し、インバウンドの旅行客もコロナ前に近づきつつあり大変嬉しく思います。

さて、本日は樹音にて Xmas 例会です。今年も相変わらず慌ただしい1年でしたが、忙しい中にも「SDGs コンテスト」「観桜会(4クラブ合同)」「納涼会」「クリスマスドロップ事業」等無難にこなして参りました。ご協力ありがとうございました。

正月を迎えますとロータリー活動も 2024-25 年度が色濃く表れてきます。当該ガバナーは大高史郎氏であって、ロータリーに非常に詳しく活動も盛んに参加されるロータリアンです。ロータリーに対する方向性に迷いが出てきた昨今ですが、如何にしたら納得のできる活動へと導いてもらえるか期待をしたいところでもあります。

残す後期の年度もよろしく願いいたします。



出席状況

Table showing attendance statistics: 会員 9名, 出席者 6名, WEB出席 0名, 定款第10条(第6-7節除く) 伊藤・松山・鈴木会員

ニコニコボックス

Table showing financial goals: 目標額 (本年度) 400,000 円, 実績額 本日/累計 15,000円 / 244,000円

MESSAGE

Table with messages from members: 長友会員, 川上会員, 荒木会員, 大原会員, 海老原会員, 横山会員

今後の予定

Table with future events: 01/20.土 日本文化体験研修(相撲観戦).米山奨学会, 02/10.土 InterCity Meeting 「アルシェ」

例会の欠席は、水曜日 AM 10:00 までに川上幹事 TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。



は、日、米軍のグアタンターセン基地へ向かい、ミクロネシアの島々へ生活支援物資などをパシャットで投下する「クリスマスドロップ作戦」の支援事業を行った。写真。
同作戦は米国防務省が支援する人道目的の空輸活動として1952年より継続的に実施。今回、ケムサライ、スライ、RCと縁のある、苦小牧東、八潮、東京たまがわの各RCが日本から参加し、交流を深めた。同作戦には航空自衛隊のほか、豪、ニュージーランド、韓国の各軍も参加している。



## 本日のプログラム

### 2024-25RI 会長テーマ

2024-25RI 会長 ステファニー・アーチック

国際ロータリーのステファニー・アーチック会長エレクトは、2024-25 年度会長テーマ「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary)を発表し、多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。

・「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません」。1 月 8 日、ロータリー国際協議会でアーチック会長エレクトは次期地区ガバナーにこう語りました。「それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです」

・マクマーリー・ロータリークラブ(米国ペンシルバニア州)の会員であるアーチック会長エレクトは、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったときにロータリーのマジックを目にしました。そのとき、汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。

・「少年の一人が私の袖をつかんで、『もう一度魔法を見せて』と言ったのです」とアーチック氏。「もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということを、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです」

#### 平和を優先する

アーチック氏は、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。2025 年には「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和会議を開催する予定となっています。

・ロータリーには、平和センターのネットワークを通じて平和を促進してきた長い歴史があると、アーチック氏は述べました。世界各地の名門大学に拠点を置く平和センターは、現在 140 カ国以上で活躍する約 1,800 人の平和フェローを育ててきました。トルコのイスタンブールにあるバチシェヒシュ大学に設置される最新の平和センターでは、2025 年に第 1 期フェローが学業を開始します。

・「ロータリー平和フェローシップは、紛争を終わらせ、予防するきっかけとなる平和・開発の専門家を世界各地で育成するために、20 年以上前に始まりました」とアーチック氏。「この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります」

・アーチック氏はさらに、ポリオ根絶へのコミットメントについても繰り返し触れ、ポリオプラス・ソサエティへの参加や、

各地区でのソサエティの創設など、ポリオ根絶のために全力を尽くすよう次期ガバナーに求めました。

・「地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります」

#### 継続と変化のバランス

また、継続と変化のバランスを取ることも強調し、どちらもロータリー行動計画の原動力であると述べました。

・「この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくもの」とアーチック氏。「私たちは、バランスを取るという難題に直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません」

・さらに、クラブでの体験を会員にとって魅力的なものとするために必要な対策を取るよう、ガバナーに求めました。

・「これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれませんが。地区が過去 50 年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれませんが。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません」

・アーチック氏は、好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで多様性、公平さ、インクルージョン( DEI)の原則を取り入れることであると述べました。

・「行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても」とアーチック氏。「DEI を受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注げば、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます」

